

# 米国株式リスクコントロール戦略ファンド ＜為替ヘッジなし＞

追加型投信／海外／資産複合／特殊型（ロング・ショート型）

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国株式リスクコントロール戦略ファンド＜為替ヘッジなし＞」は、2019年2月1日に第8期の決算を行いました。

当ファンドは、外国投資信託への投資を通じて、値上がり期待される株式を買い建て、値下がり予想される株式を売り建てることで、株式市場の動きに左右されにくい収益の獲得をめざし、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年8月2日～2019年2月1日

第8期	決算日：2019年2月1日	
第8期末 (2019年2月1日)	基準価額	9,401円
	純資産総額	115百万円
第8期	騰落率	△7.7%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

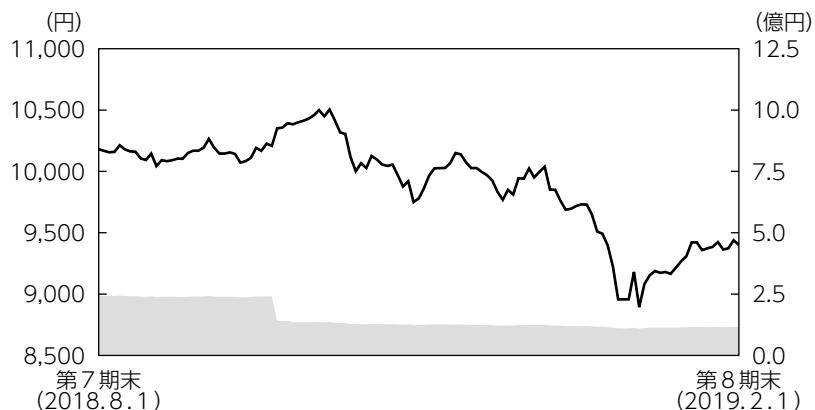
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第8期首：10,181円  
 第8期末：9,401円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△7.7%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

F R B (米連邦準備理事会) による利上げや貿易摩擦問題の影響を受け、世界経済が景気後退に陥るとの懸念が強まり株式市場が下落したことから、株式ショート戦略はプラスに寄与しました。一方、株式ロング戦略がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。債券ロング戦略についても、マイナスに寄与しました。また、為替市場で円高ドル安が進行したこともマイナスに寄与しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラス	△8.0%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	(2018年8月2日 ～2019年2月1日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	55円	0.561%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,892円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(27)	(0.272)	
(販売会社)	(27)	(0.272)	
(受託銀行)	( 2)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	56	0.562	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2015年4月30日 設定日	2016年2月1日 決算日	2017年2月1日 決算日	2018年2月1日 決算日	2019年2月1日 決算日
基準価額 (分配落)	(円) 10,000	9,225	9,227	9,977	9,401
期間分配金合計 (税引前)	(円) —	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) —	△7.8	0.0	8.1	△5.8
純資産総額	(百万円) 392	480	437	260	115

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

## 投資環境

米国株式市場は下落しました。F R Bによる利上げや貿易摩擦問題の影響を受け、世界経済が景気後退に陥るとの懸念が強まったことが背景にあります。2019年1月に入り、F R Bがより景気に配慮した金融政策の運営を行う姿勢を示したことはプラス材料となりました。

米ドル/円相場は、上下に大きく変動しながら推移し、円高ドル安となりました。世界経済の減速懸念や世界的な株安、米国長期金利の低下等に伴い、円に対する需要が強まり、円高米ドル安が進行しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは期初 $\Delta 0.18\%$ 程度から開始し、2018年9月中旬ごろ $\Delta 0.12\%$ 程度に上昇しました。しかし、10月に入ると需給要因によって $\Delta 0.32\%$ 程度まで急低下しました。その後は上下しながら、期末にかけて概ね $\Delta 0.26\%$ 程度まで上昇しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド

円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラス

株式ロング・ポジションおよび株式ショート・ポジションをそれぞれ縮小したことから、グロス・ポジションは低下しました。業種別で見ると、ロング・ポジションでは資本財・サービスや一般消費財・サービスで高めのポジションを維持しました。また、情報技術のポジションを高めました。ショート・ポジションでは一般消費財・サービスや金融などで高めのポジションを維持しつつ、個別銘柄毎の投資機会に応じて入れ替えを行いました。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

## 分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年8月2日 ～2019年2月1日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	370円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラスを高位に組入れる方針です。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド

円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラス

F R B が金融政策に対する姿勢を様子見にシフトさせたことで、過度な利上げによる景気後退懸念は払拭され、株式市場が底割れするリスクは大きく低下したと考えます。当ファンドでは、リスクを抑制しつつ着実にリターンを積み上げることを投資哲学としています。今後、株式市場の変動性が高まる局面では、ロング・ショート両面で株価のミス・プライシング（適正価格からの乖離）を捕捉し、着実な収益の積み上げを狙う方針です。

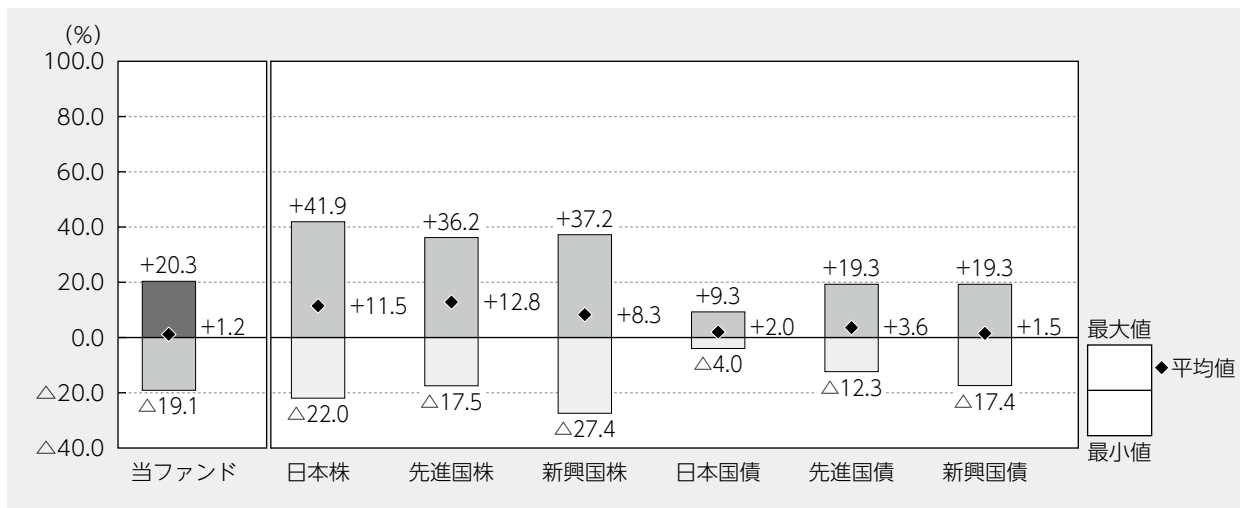
### ●D I A Mマネーマザーファンド

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを中心に運用を行っていきます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合／特殊型（ロング・ショート型）
信託期間	2015年4月30日から2020年8月3日までです。
運用方針	外国投資信託への投資を通じて、値上がり期待される株式を買い建て、値下がり期待される株式を売り建てること、株式市場の動きに左右されにくい収益の獲得をめざし、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建て外国投資信託である「ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラス」の投資信託証券へ投資を行います。また、「D I A Mマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融資産等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として、外国投資信託への投資を通じて、米国株式に実質的な投資を行います。外国投資信託において、実質的に、値上がり期待される株式を買い建て、値下がり期待される株式の売り建てを行います。加えて、利回り向上のため、米ドル建て社債（ハイイールド債を含みます。）等への投資を行うことができます。株式市場環境に応じ、株価指数先物等を活用することにより機動的に株式・債券等の実質組入比率を変更し、リスクの低減を図ります。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を維持します。投資対象とする外国投資信託において、実質的な組入外貨建資産は、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
分配方針	決算日（原則として毎年2月および8月の1日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2016年4月~2019年1月

代表的な資産クラス : 2014年2月~2019年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。



## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2019年2月1日現在)

#### ◆組入ファンド等

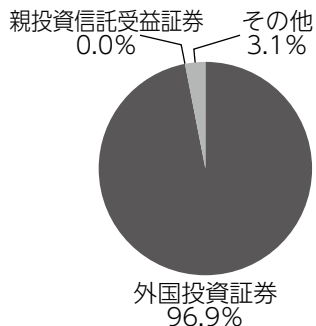
(組入ファンド数：2ファンド)

	当期末
	2019年2月1日
ニューバーガー・バーマン U S ロング・ショート・ エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラス	96.9%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0
その他	3.1

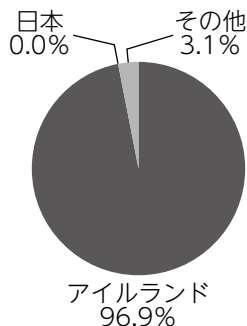
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

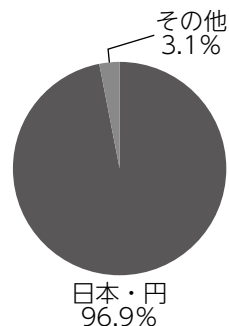
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

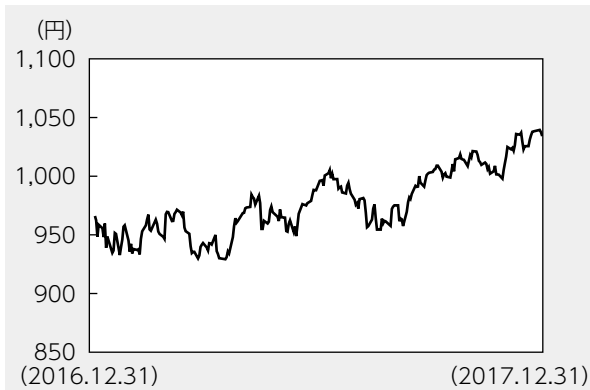
項目	当期末
	2019年2月1日
純資産総額	115,797,341円
受益権総口数	123,170,920口
1万口当たり基準価額	9,401円

(注) 当期中における追加設定元本額は657,618円、同解約元本額は115,972,875円です。

## 組入ファンドの概要

[ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラス]  
(計算期間 2017年1月1日~2017年12月31日)

### ◆基準価額の推移



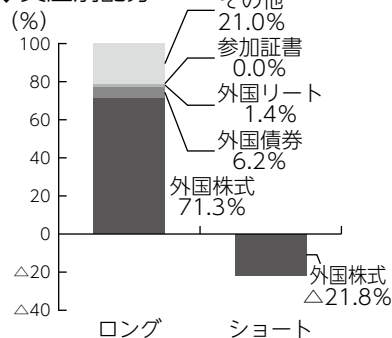
### ◆組入上位10銘柄 株式 (ロング・ポジション)

銘柄名	通貨	比率
DaVita Inc	米ドル	2.4%
JPMorgan Chase & Co	米ドル	2.2
Enbridge Inc	米ドル	2.1
Visa Inc Class A	米ドル	2.0
IHS Markit Ltd	米ドル	1.9
Home Depot Inc	米ドル	1.8
Brookfield Infrastructure Partners LP	米ドル	1.8
Conagra Brands Inc	米ドル	1.8
Dentsply Sirona Inc	米ドル	1.7
Alphabet Inc Class A	米ドル	1.7
組入銘柄数	81銘柄	

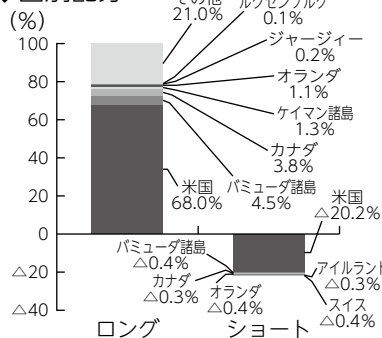
### ◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

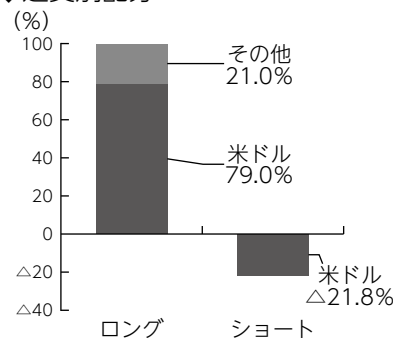
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



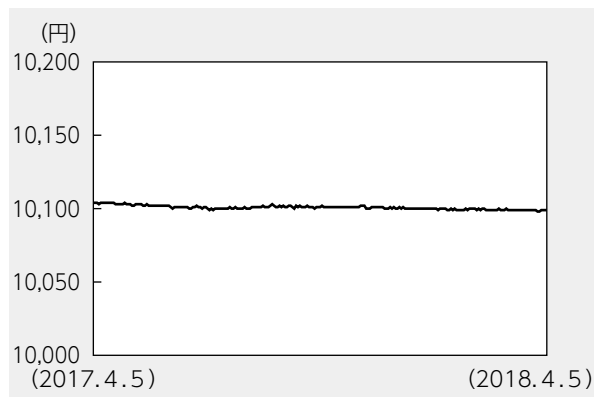
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンド 円建て 分配なし 為替ヘッジなしクラスの計算期間(決算日が休日の場合は前営業日まで)のものです。また、副投資顧問会社であるニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズLLCのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンドの決算日(決算日が休日の場合は前営業日)現在の状況を表示しております。
- (注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、先物契約は含まれておりません。
- (注4) 比率はニューバーガー・バーマン USロング・ショート・エクイティ・ファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、副投資顧問会社であるニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズLLCのデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2017年4月6日～2018年4月5日）

◆基準価額の推移



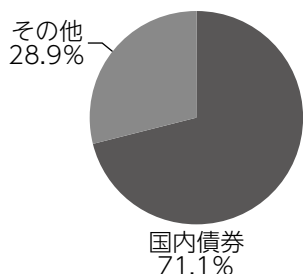
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
15回 政保東日本高速道路債券	日本・円	9.8%
71回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	9.8
1回 政保地方公営企業金融機構債券	日本・円	9.8
194回 政保中小企業債券	日本・円	9.8
199回 政保預金保険機構債券	日本・円	9.7
112回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	3.0
55回 政保関西国際空港債	日本・円	2.9
26年度4回 静岡県公募公債	日本・円	1.4
27年度2回 千葉県公募公債	日本・円	1.4
27年度 京都府京都市みらい債	日本・円	1.3
組入銘柄数	27銘柄	

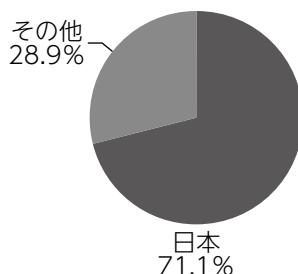
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

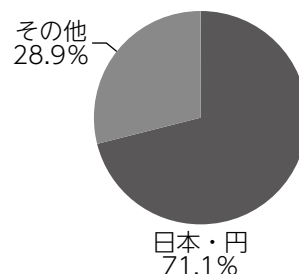
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。